

# 学校番号 44 「湯沢翔北高等学校 中期ビジョン（5カ年計画）」

## I 本校が目指す姿

### (i) 学校の現状や課題

本校は普通科、総合ビジネス科、工業技術科の3学科と「介護とものづくり」のエキスパートを養成する専攻科(介護福祉科及び生産技術科)を有する県内で唯一の高校である。

創立以来、校訓「誠心 創意 自立」のもと「創造力と実践力のあるたくましい生徒の育成」を基本理念として掲げ、様々な教育活動を展開しながら特色ある学校づくりを推進してきた。

令和という新しい時代を迎え、社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難となっている中、社会全体が答えのない問いにどう立ち向かうかが問われている。

この中で、一人一人の生徒が、自分の可能性を認識し、多様な人々と協働しながら社会的な変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることも求められている。

本校においては、各科の特徴を最大限に生かしたカリキュラムの下、地域と連携しながら社会的・職業的自立につなげる教育活動を充実・発展させ、自らの進路や将来を主体的に選択・決定できる生徒を育成していくことが必要である。

### (ii) 学校を取り巻く将来の状況の予測

湯沢雄勝地区における中学校卒業生数は、令和4(2022)年度が380人、令和9(2027)年度が349人になると予測されている。

このように少子化が進んでいる状況の中で、本校は平成30(2018)年度入学生から普通科において生徒募集定員が70人(2クラス)から40人(1クラス)へ減員された。また、令和2年度には、雄勝高等学校が本校の地域校(雄勝校)として新たなスタートを切った。今後も本地区内はもとより、全県的に生徒募集定員が減員されていくものと予想される。

しかし、少子化や減員によって地域・学校の勢いを衰えさせてはならず、地域からの期待はこれからますます大きくなるものとする。

したがって、本校が地区内で核となり活性化に貢献しなければならないし、唯一の統合校として、また専門学科、専攻科及び雄勝校も有することを踏まえ、これまで以上に地域に根ざした教育活動を推進することが求められることになるかと予想される。

### (iii) スクール・ポリシー

生徒の個性や進路希望に応じたきめ細かな教育活動を展開し、地域と連携して人間性の向上を図ることにより、「地域社会に貢献できる人材を育成」し、「進路希望を実現」する「地域に根ざした活力ある学校」を目指す。

#### 1 グラデュエーション・ポリシー（目指す生徒像）

- (1) 基本的生活習慣の確立を図るとともに、責任と協調を重んじ、礼儀正しく他を思いやる心を育み、意欲的に社会貢献できる人間を育てる。
- (2) 基礎・基本の指導を徹底し、自ら学び自ら考える主体的な学習態度を養い、学力の向上を図る。
- (3) 体験的学習を通して一人一人の豊かな個性や能力を伸ばし、将来の社会的・職業的自立を目指した進路実現を図る。

(4) 商業、工業及び福祉の専門教育の特色を生かし、地域と連携を図ることによって実践的な教育活動を推進し、望ましい職業観・勤労観を育成する。

## 2 カリキュラム・ポリシー（本校の学び）

(1) 生徒の進路希望や地域のニーズに応えるカリキュラムを編成し、社会で生き抜く力を身に付けさせる。

(2) 意欲的に社会貢献できる生徒を育てるために、基本的生活習慣の確立を図り、責任と協調を重んじ、礼儀正しく他を思いやる心を育む。

(3) 学習指導を通じて、自ら学び自ら考える主体的な学習態度を身に付けさせ、学力の向上を図る。

(4) 将来にわたって社会的自立を果たす人材づくりのために、体験的・実践的な学習を通じて、生徒一人一人の豊かな個性や能力を伸ばす。

## 3 アドミッション・ポリシー（求める生徒像）

(1) 何事にも主体的に取り組み、社会に意欲的に貢献しようとする生徒。

(2) 学習成績が優良で、各教科の学習に対して意欲を持つ生徒。

(3) 探究的な学習活動において、他の生徒との対話を通して理解を深め、課題解決に取り組むことのできる生徒。

## II 5年間を通しての具体的な目標と取組

### (i) 5年間を通しての具体的な目標

#### Ⅰ 「多様な進路希望の実現」のために

(1) シチズンシップを育てる探究活動(翔大夢2.0)とキャリア教育の充実

①全学科で探究活動を展開し、地域課題の解決や地域活性化に関する研究を全員が実施

②望ましい職業観・勤労観を育成するための外部講師による講話・実習の実施

③主体性を育てる主権者教育の充実

(2) 意欲に満ちた主体的進路選択の実現

①普通科（進学）

国公立大学の合格率50%以上、私大・短大・専修学校の合格率100%

②総合ビジネス科・工業技術科（進学）

進学希望者の四年制大学受験率50%以上

③全科共通（就職）

県内就職率80%、就職内定率100%、卒業後3年離職率0%

(3) 高度で価値ある資格や検定への合格

①総合ビジネス科：日商簿記2級15名、日商リテールマーケティング(販売士)2級10名、ITパスポート10名

②工業技術科：技能検定3級以上(機械加工旋盤、機械検査、機械保全、電子機器組立て、シーケンス制御)25名、第2種電気工事士20名、パソコン利用技術検定2級30名

#### 2 「地域社会に貢献する人材の育成」のために

(1) 地域のにぎわい創出への貢献

(2) 地域密着型のボランティア活動

(3) 地域の課題解決に向けた学習成果の還元

(4) 生涯学習の場の提供

(ii) 目標を達成するための具体的な方法、取組等について

Ⅰ 「多様な進路希望の実現」のために

(1) シチズンシップを育てる探究活動(翔大夢2.0)とキャリア教育の充実

- ①主体的・対話的で深い学びを目指す授業改善
- ②異年齢や多様な立場の人々と関わる場の設定
- ③地元企業との連携事業の推進

(2) 意欲に満ちた主体的進路選択の実現

- ①個に応じた指導と家庭学習への支援の充実
- ②地域校と共に学ぶ機会の設定
- ③情報提供とガイダンスの充実
- ④総合型選抜・学校推薦型選抜等の積極的な活用
- ⑤補習の計画的活用

(3) 高度で価値ある資格や検定への合格

- ①「学校設定科目」の柔軟な活用
- ②校外における活動や資格取得による単位認定
- ③専攻科生産技術科と連携した高度な技能の習得

2 「地域社会に貢献する人材の育成」のために

(1) 地域のにぎわい創出への貢献

- ①うどんエキスポや犬っこまつり等への参加と地域の課題解決や更なる発展のための提案
- ②地元企業や農家等と連携した商品の開発と販売(サクランボ、スモモ等地元特産物の商品化)

(2) 地域密着型のボランティア活動

- ①高齢者介護施設や特別支援学校との交流
- ②工業の技術を生かしたボランティア活動(車椅子リサイクリング、修理ボランティア等)

(3) 地域の課題解決に向けた学習成果の還元

- ①他校種との連携(小中学校プログラミング講座、ロボット製作講座等)
- ②総合的な探究の時間や課題研究における地域の課題解決のテーマ設定や地場産業・特産物に関連した授業の実践(自然エネルギー、特産品、福祉社会等)
- ③学科連携による地元商店街での短期チャレンジショップやネットショップの開店
- ④地元企業との連携によるものづくりや大会参加(ミニ絵どうろう、宇宙エレベーターロボット競技東北大会、ドローン競技大会等)

(4) 生涯学習の場の提供

- ①生徒が身に付けた知識・技能を生かした市民講座等の実施
- ②専攻科の施設・設備の活用による地域産業への貢献(研修センター的機能)

令和3年4月策定

令和5年5月一部改訂